

まなびのページ

ちょっと考えてみませんかシリーズ No.33

～アンコンシャス・バイアス～

皆さんは、“アンコンシャス・バイアス”という言葉をご存知でしょうか。
日本語では、「無意識の思い込み」などと表現され、これまでに経験されたことがある人もいるかもしれません。
しかし、知らず知らずのうちに生み出されるこの“思い込み”が、時には、周りの人々を傷つけてしまったりする場合があります。
今回は、誰にでも起こりうる「無意識の思い込み」について、一緒に考えてみましょう！

例えば、このような考え方はどうでしょうか？

・性別による役割分担意識があること

(例: 男は〇〇、女は〇〇するべきだ…など)

・年齢による固定的先入観があること

(例: 若者はITやデジタル分野を得意としているが、高齢者は苦手としている…など)

「無意識の思い込み」が浸透してしまうと…

誤った先入観や意識が生み出された結果、他者との関係性において、誤解や対立を生んでしまう事態に発展する可能性もあります。

日常生活や仕事の場面においても、客観的要素が欠けていたり、誤った思い込みにより、思わぬトラブルに陥る可能性もあります。

アンコンシャス・バイアスを無くしていくためには…

何気ない普段の会話や、物事の考え方などについて、一度立ち止まって振り返ってみましょう。

※とくに、「一般的には…」 「普通は…」などの言葉は、誰もが使いがちな言葉です。

物事に対して多角的視点を持ちましょう。文化や異なる背景の存在を認識することで、自分の知識や理解も深まります。

日々の生活の中で入手する情報について、じっくり考えてみましょう。めまぐるしく日々変化する現代の情報化社会の中にも、誤った情報はたくさん存在しています。そのときの感情や先入観だけではなく、客観的データや情報をもとにした言動・発信を心がけていきましょう。

今回、紹介した「アンコンシャス・バイアス」とは、各個人のこれまでの経験や習慣などから生み出されるものでもあるため、すべてをなくしていくことは、難しいかもしれません。しかし、一人一人が、日常で生じる「思い込み」にふと立ち止まり考えることができれば誤解やトラブルも少なくなるはずですよ。

日常シーンでみられるさまざまな「思い込み」について、身近な人と確認してみるのも良いですね。

再生紙を使用しています。

植物油インキを使用しています。